

藤塚小だより

学校教育目標：生きる力にあふれる子

～「自分らしさを発揮する力」の育成を目指して～

令和3年4月7日
横浜市立藤塚小学校
学校だより 4月号
TEL (351) 2314
FAX (351) 7349

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/fujizuka/>

令和3年度のスタートに向けて

校長 藤田 陽子

明るい春の日差しの中、正門から昇降口に行くアプローチには色とりどりの美しい花々があふれ、優しく児童を迎えています。本日新1年生44名を迎え、全校児童276名とともに藤塚小学校の令和3年度がスタートしました。お子様のご入学そしてご進級、誠におめでとうございます。



一昨年、そして昨年につき、本校校長を務めます藤田陽子（ふじた ようこ）と申します。ご家庭、そしてこの藤塚のまちの皆様との豊かなつながりを基盤とし、一人ひとりの児童を大切に育てる学校づくりを目指し、精一杯努力して参ります。保護者、地域の皆様方には、今年度も引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、令和3年度の始業式では次の2点について児童に話をしました。

- ◎自分からあいさつをすること
- ◎めあてをもち、取り組むこと

これは非常に一般的な、児童にとっても「あたりまえ」の内容かもしれませんが。昨年度だけでなく毎年、年度当初だけでなく折にふれ朝会や集会、各学級での指導で繰り返し伝えてきている内容です。今年度はこの「あたりまえ」だと感じる内容に、新しい気持ちでしっかりと向き合い、取り組んでいきたいと考えています。

令和2年度は、感染症にかかわる様々な予防対策のため、学校でも新しい日常の模索に追われる日々が続きました。新しい日常では、感染症対策や児童同士のかかわり方などこれまでの取組を変え、新しくしなければならないものが多くありました。しかし一方で、児童がまわりの人々とつながりながら学習や活動をする事、そして個人や集団の成長のために目標をもって取り組むことなど、これまで学校が取り組んできた内容の大切さを改めて見つめ直す毎日でもありました。これまでの取組や指導の意味、そして価値を再度認識し、教育活動の中で意識していきたいと考えるチャンスとなったのが令和2年度の取組でした。

令和2年度の取組を経、今年度は改めて「児童が人とつながる姿」そして「一人ひとりがチャレンジし力を伸ばす姿」そのような児童の姿を目指し、『あいさつ』『めあて』を大切にしたい教育活動に全教職員で取り組んでいきたいと考えます。

今年度も、何卒よろしく願いいたします。

